

授業科目 教育原理（教育史・教育課程の意義含む）

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	健康・スポ・看護
		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 哲学者カントは、「人は教育によって初めて人になる」といった。明治以降、驚異的なスピードで学校制度を普及された我が国において、教育はあらためて意識するまでもないほど普及しきっている。本科目では、この「教育とは何か」について、その思想と歴史、教育システム、社会の変化とそれに対応する教師の姿から、総合的に論ずる。					
【学習目標】 1. 教育とは何かについて問いかけること意義を考える。 2. 我が国および諸外国における教育の思想と歴史について概観する。 3. 教育課程の意義とその編成について知る。 4. 今日的な教育の課題と教師に求められる力量の変化について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	
2	教育とは何か：ヘレン・ケラーに学ぶ			1	
3	教育の思想と歴史（1）：古代の学校、カント、教授学、経験論、子供の発見			2	
4	教育の思想と歴史（2）：成就の定式化、経験主義、自由主義教育論			2	
5	教育の思想と歴史（3）：近世日本の教育、学制・教育令、大正自由教育			2	
6	教育のシステム（1）：学校制度と教育行政			2	
7	教育のシステム（2）：教育課程をつくる			3	
8	教育のシステム（3）：子供の経験と強化の系統性（1）			3	
9	教育のシステム（4）：子供の経験と強化の系統性（2）			3	
10	教育のシステム（4）：教育における評価を考える			3	
11	再び教育とは何か：泣き虫先生に学ぶ			4	
12	変わる子供と教師の仕事（1）生徒指導			4	
13	変わる子供と教師の仕事（2）専門職としての教師			4	
14	変わる子供と教師の仕事（3）生涯教育			4	
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		使用しない。適宜プリントを配布する			
参考書		新・教育原理	柴田義松（編）	有斐閣	1,800円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席、ワークシート、期末テストから総合的に判断します。		試験は論述式で行い、講義で得た知識や他者から学んだことに基づいて自分なりに論理を構築することを求めます。			